

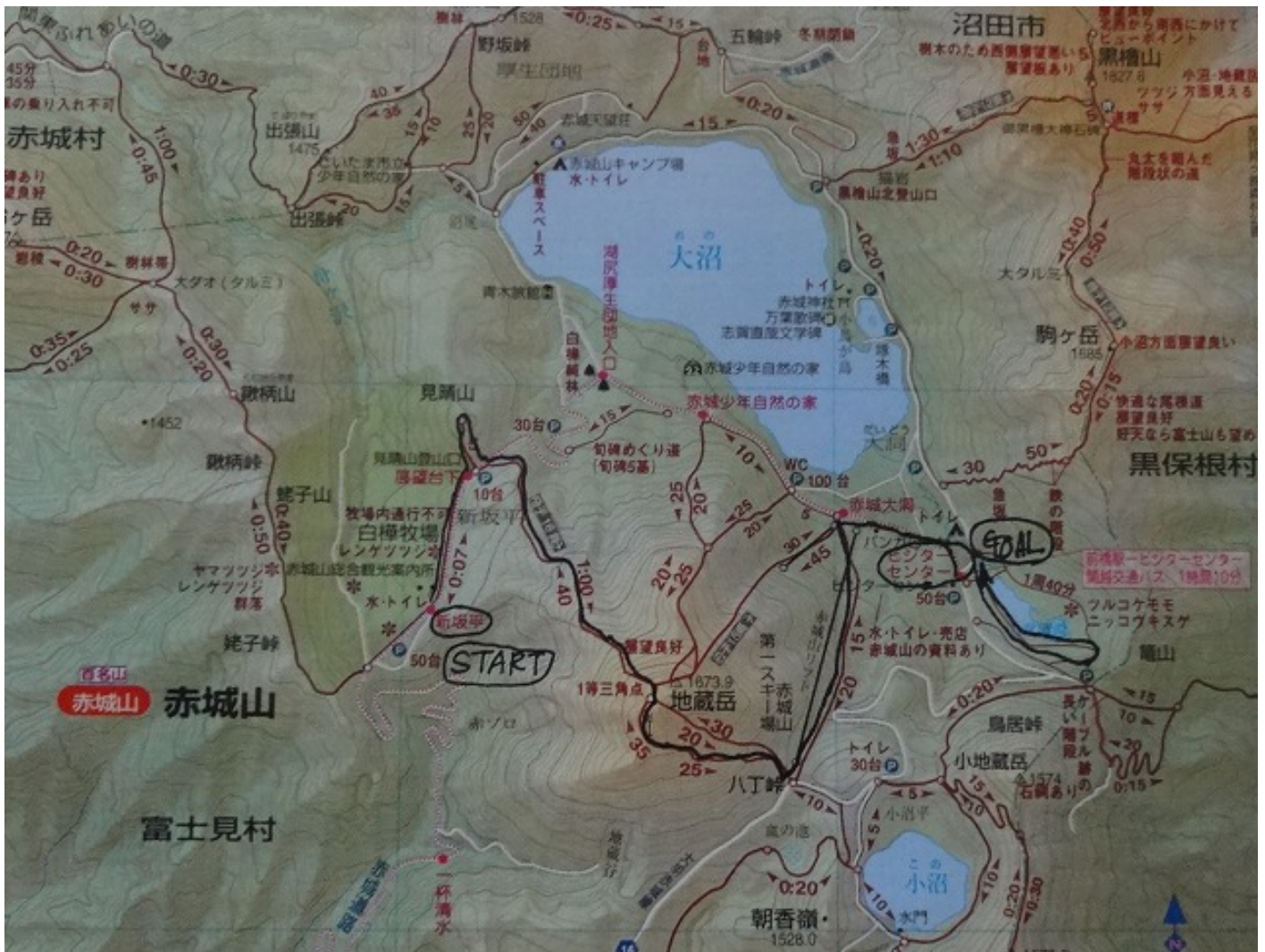
2015年6月13日(土)

赤城 地藏岳

今回はレンゲツツジの群生鑑賞ハイクで、赤城の新坂平から白樺牧場、見晴山のレンゲツツジを見て、地藏岳(1674m)に登り、覚満淵の湿原を散策後、温泉で入浴するコースである。

当初は20日(土)に計画してあったが、今年は例年より開花が早いとの情報を得て、1週間早め、13日(土)にした。参加者は岡部さん、小山さん、布目さん、能勢さん、熊本の5名。

今回の登山コースは下記の通り



高崎駅までは各自の手段で集まり、8:05 発の両毛線小山行の電車に全員乗り込んだ。
下車駅前橋までは約14分と近い。



8:19 に前橋駅に到着し、バスターミナルの6番乗り場に駆けつけ、7, 8番目に並ぶ。下山後に予定していた富士見温泉は現在休業中とのことで、駅前の温泉に変更。

赤城山までは約1時間の乗車となり、座れないと辛いことになる。



8:45 発急行「赤城ビジターセンター」行のバスは超満員で20人ほど立たされた。

我々は幸いなこと一本早い電車で来たお蔭で全員座れた。



9:45 に新坂平のバス停に到着し下車。

白樺牧場である。

開花を心配していたレンゲツツジは満開で多少ピークは過ぎた頃の様だが、十分楽しめる咲具合であった。



坂の上に総合案内センターがあり、数分、満開のレンゲツツジを見ながら歩く。

東京を出発するときは曇りだったが、空一面に青空が広がっている。



赤城総合案内センターにはトイレもあり、準備を完了して、見晴山に向かう。



見晴山に向かう途中の牧場内は満開のレンゲツツジで埋め尽くされている。



10分程で見晴山の登りとなるが、登るに従って、レンゲツツジの花は少なくなった。とっくに最盛期は過ぎてしまったようだ。



見晴山の山頂近くでは、期待を裏切り、レンゲツツジの花は殆どなかった。

10 : 05



残念な思いで見晴山を下山。
正面の山はこれから登る地藏岳だ。



車道に沿って地藏岳への繋がる「勾碑めぐり遊歩道」があった。



5分程、車道に沿った遊歩道を歩くと、地藏岳への登山道が出てきた。



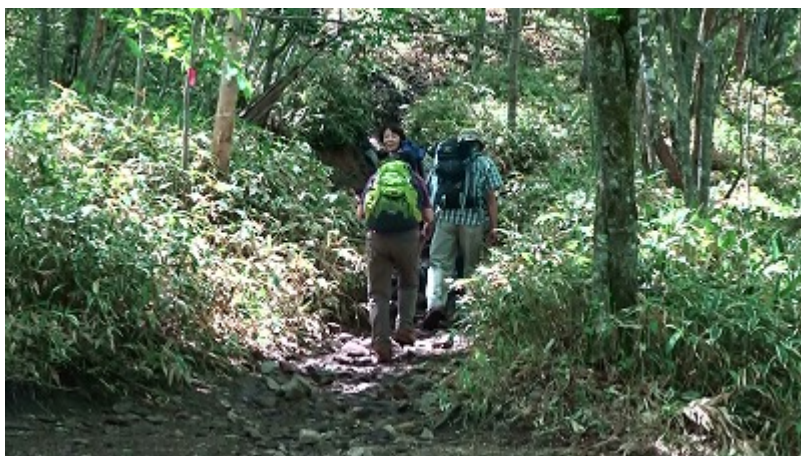
ブナやダケカンバの樹林帯を登る。
日差しが遮られ涼しい。



30 分程登り、T 字路の分岐で最初の休憩。



地藏岳山頂に向かって傾斜がきつくなる。



急登で全身汗をかきながら上を目指す。



10 : 55 前方が開け、マイクロ回線のパラボラアンテナ群が出てきた。近くに地藏尊が安置されていた。





山頂近くもレンゲツツジが群生していた。



山頂（1674m）には7体の地藏尊が大沼を見る位置に設定されていたが首が欠けていた。



山頂から大沼、及び赤城山の主峰「黒檜山」（1828m）が正面に見える。



山頂で大沼と黒檜山を眺めながら昼食。



昼食後、山頂の標識を囲んで登頂の記念写真。11：38



11:40 予定より約1時間早く、下山に入った。
今回の下山は大沼方向でなく、八丁峠から小沼を見て赤城ビジターセンターのコースである。



山頂付近もレンゲツツジの群生



八丁峠への登山道は木階段や木道で良く整備されている。



下り始めて 5 分で左前方下に小沼が見えてきた (11 : 45)



山頂から八丁峠へ下山ルートは終始、レンゲツツジが咲いており、楽しめる良いコースだ。



レンゲツツジにヤマツツジも混ざって咲いていた。



下山始めて 15 分、クマ笹の深い登山道に代わって来た。

更に 5 分下ると、小沼と第一スキー場の分岐にでた。

我々は第一スキー場へのコースを取り、「覚満淵」散策の余裕を持たせることにした。



12 : 20 赤城大洞のバス停に到着。ここから真っ直ぐ大沼に向かって降りたが、遠回りだった。



12 : 30 赤城ビジネスセンターに到着。

バス停にザックを置いて、空身で覚満淵の散策に向かう。



「覚満淵」は小尾瀬と言われる湿地帯で覚満法師が大法要を行ってその名前が付いたといわれている。



覚満淵の対岸にはレンゲツツジが満開だった。

2008年6月7日に来た時は、レンゲツツジは全くなかったのだが・・・



思いがけないレンゲツツジの満開の群生に大感激。





予想していなかった群生に、最後のご褒美を頂いた気分だ。



40 分程、覚満淵を散策して、バス停に戻り、予定より一本早い 13 : 45 発の急行バスで前橋駅に向かった。



大鳥居を越えて前橋駅へ・・・



14：45 前橋駅に到着、駅から徒歩2分の天然温泉源泉かけ流しの「ゆーゆ」へ



温泉で汗を流した後、館内のレストランで、冷たい生ビールで乾杯！



高崎駅で16：12 発の小田原行に乗り、グリーン車で一杯やりながら帰路につきました。

今日は終日、レンゲツツジに囲まれた一日で最高でした。